

# Discord (ディスコード) で画像交換を体験

Shu JA3GQJ

2023 年 6 月から仲間同士で Discord による画像交換を行っていたが Discord の知識がないままサーバーは海外局のものに頼っていたところ最近不具合が多くなってきたので、そのサーバーから離れて独自のサーバーを立ち上げた。その手順など体験メモを PDF ファイルに記録しておく。

## Discord (ディスコード) とは? (私の理解)

- ・アメリカで開発された無料のコミュニケーションサービスだそうである。
- ・テキストチャット機能やボイスチャット機能といったコミュニケーション時に役立つ機能が充実しているようだ。
- ・全世界中で、月間アクティブユーザー数は 1 億 5000 万人を超えているらしい。
- ・ボイスチャット機能で友達との音声通話がし放題であるばかりでなく FT8、EZPix、Vari\_Image\_Front などの信号も通るので**画像交換が出来る**。

## Discord (ディスコード) を使用する手順

アカウント作成 → サーバー作成 → 交信相手にサーバーの存在を知らせるという手順で Discord (ディスコード) の使用を開始した。

### 1. アカウントの作成

アカウントは一度作成すると再現が難しいところがある。**巻末 APPENDIX-1 に記録した手順は出来るだけ再現を試みたものである。**

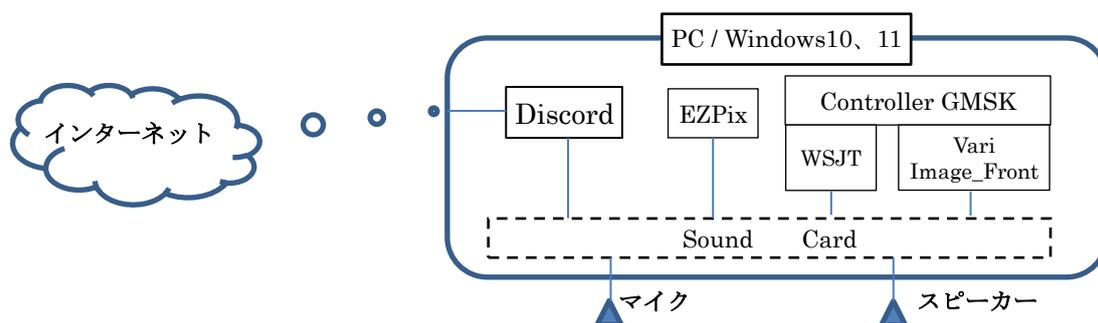
### 2. サーバーの作成

アカウントの作成の次にサーバーを作成した。**巻末 APPENDIX-2 に先に作成して使用中の「IMG\_QSO のサーバー」の作成手順を思い出しながら「test のサーバー」を新規に作成した記録を残す。**

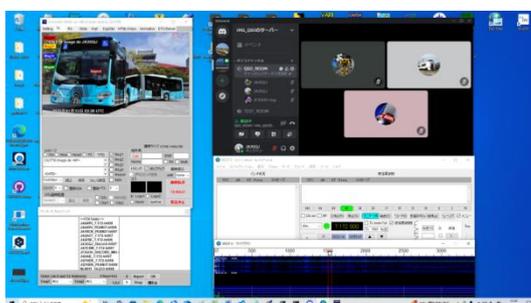
### 3. 交信相手 (仲間) をサーバーに招待

サーバー完成後、サーバーを利用する交信相手 (仲間) を招待して、交信 (画像交換含む) を開始した。Discord のサーバーは Peanut のルームの様なものであるが、その存在が分かっても Peanut のように誰でもが自由にサーバー (ルーム) に入れない。サーバー管理者の招待を受ける方法で交信仲間を増やしていく。当然ではあるが交信相手 (仲間) も最小限アカウントが必要である。(サーバーでもよい) **巻末 APPENDIX-3 に招待の手順を記録する。**

## Discord (ディスコード) を画像交換に使用するイメージ



- Discord は Controller GMSK および WSJT (FT 8 用)、Vari\_Image\_Front、EZPix 等との組み合わせで会話や画像交換が出来る。
- PC 内臓の SounCard は Discord、EZPix、WSJT (FT 8)、Vari\_Image\_Front に共有される。
- 画像の送信信号 (EZPix、WSJT (FT 8) または Vari\_Image\_Front) は SounCard のスピーカー回路から同じ SounCard のマイク回路を通して Discord 経由でインターネットに送出する。
- 画像の受信信号はインターネットに繋がる Discord (SounCard) のスピーカー回路から、同じ SounCard のマイク回路を通じて EZPix、Vari\_Image\_Front、WSJT (FT 8) にデコードされる。
- Discord の代わりに Peanut も使える。
- あまり使わないが Discord や Peanut はインターネットでの通信手段なので電波と違って画像の送受信中でも会話ができる。次の図は Discord の使用例を示す。



Discord と Controller GMSK、WSJT  
および (Vari\_Image\_Front) の組み合わせ

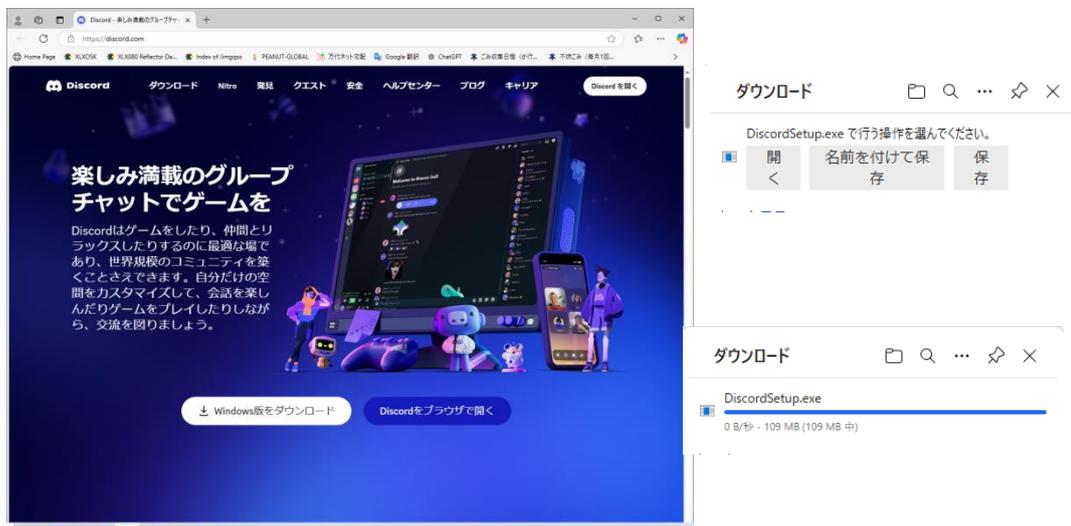


Discord と EZPix の組み合わせ

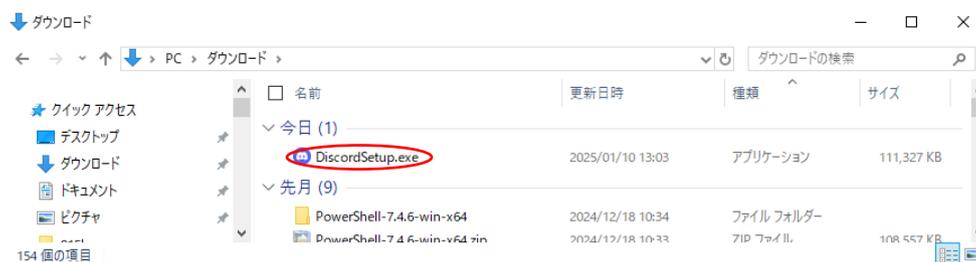
## APPENDIX-1

### アカウント作成

1. 『[Discord 公式サイト](https://discord.com)』にアクセス → 「Windows 版をダウンロード」をクリック。

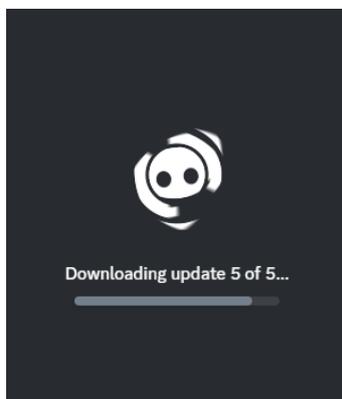


Windows のデフォルトのダウンロードフォルダーにダウンロード保存された、DiscordSetup.exe ファイルをクリック →



→ Discord が次の手順でインストールされる。

1. 次の画面が表示されてインストールが始まる。



2. インストールした Discord を開き、「登録」をクリック。



3. アカウント作成に必要な事項を入力 → 「はい」をクリック。



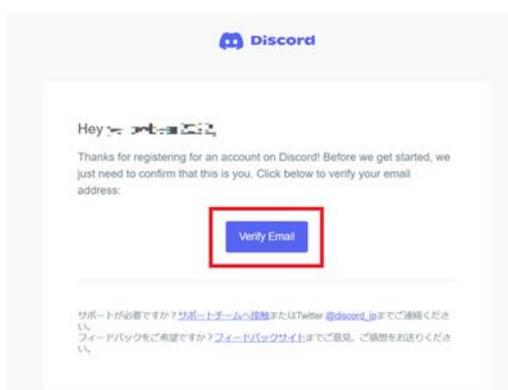
4. 次の画面が出たら、案内に従って進行する。



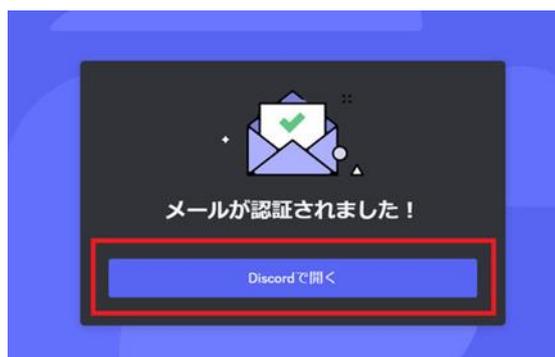
5. 案内が終わったら、アカウント作成時に入力したメールアドレス宛に認証メールが届く。認証メールが届かない場合は、画面上部にある「再送信する」をクリックする。



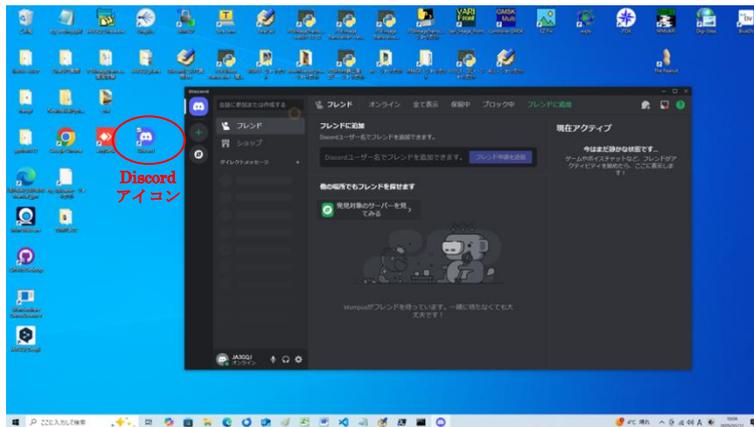
6. 認証メールを開き、「Verify Email (電子メールの確認)」をクリック。



7. メール認証後、Discord に戻る。



8. メイン画面の上部にメール認証の案内が表示されなくなったら、アカウント作成が完了して Windows10/11 のデスクトップに操作画面（以後この画面が開く）と犬のアイコンが表示される。



## 9. 操作画面のカスタマイズ

ディフォルトのアバターの画像は犬なのでこれを自分好みの画像に変えるため画面左下にある歯車マークをクリック。



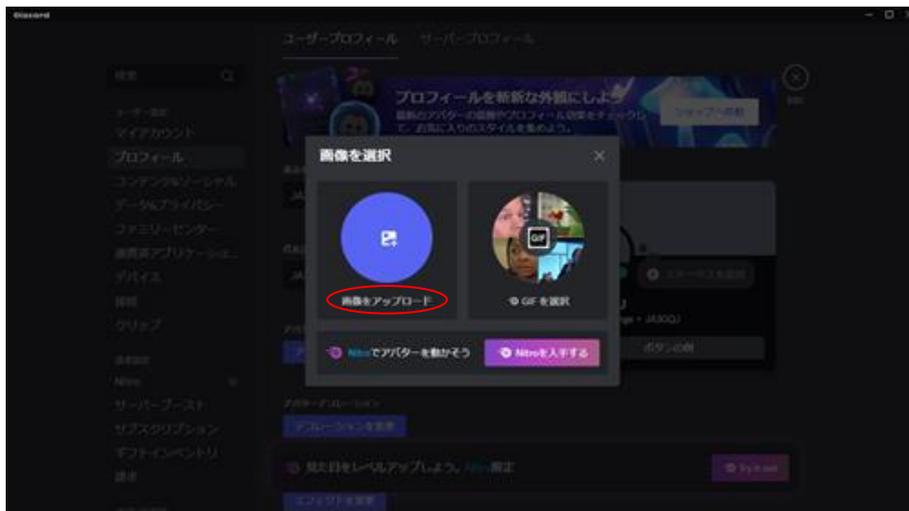
→ マイアカウントの画面が開く → 画面左側の「プロフィール」を選択 →



→ プロフィール編集画面に切り替わる → 「ユーザープロフィール」を選択 → 「アバターを変更」をクリック



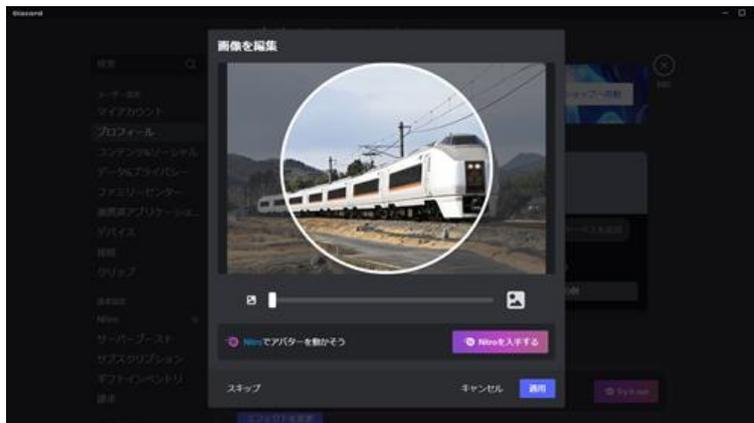
「画像を選択」が開く → 「画像をアップロード」をクリック



画像を保存しているフォルダーを開く → 好みの画像ファイルをダブルクリック



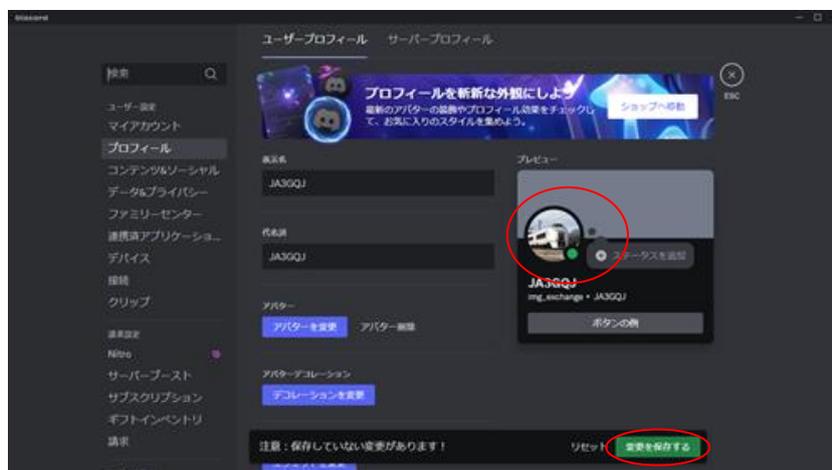
画像が張り付く →



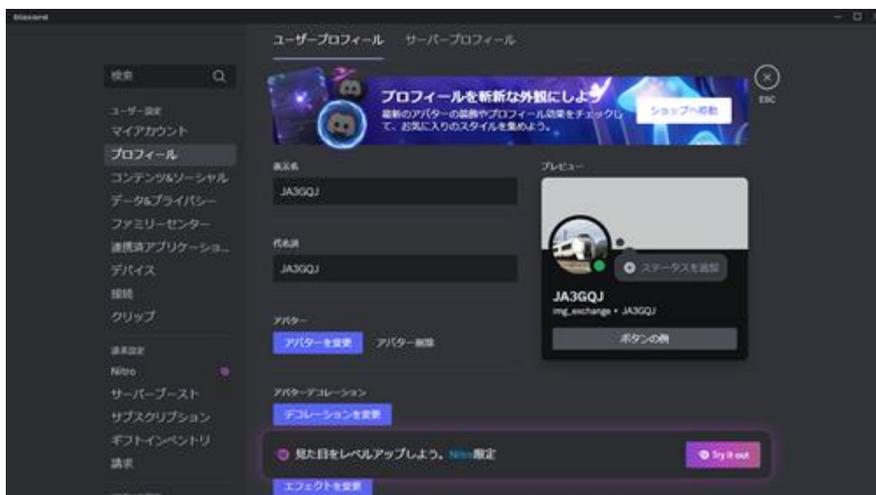
→ 張り付いた画像をマウスの左ボタンを押しながら好きなアングルが円内に入るように調節する。円内の画像の大きさは下のスクロールバーを右に動かすと大きくなる。 → 右下の「適用」ボタンをクリックする。



→ プロフィール画面に戻る → 犬のアイコンが希望したアイコンに変わった。 → 画面下の「変更を保存する」ボタンをクリックする



→ 「変更を保存する」ボタンの文字が「Try it out」に変わる → 「Try it out」の意味が分からないのでノータッチで左上のⓧESCをクリックする。（「デコレーションを変更」、「エフェクトを変更」等「アバター変更」以外はすべてノータッチ）→



→ 操作画面に戻る → 画面左下に設定したアイコンが表示されて → アカウント完成



機能を追加する？「Nitro」（有料）があるようだがこれは使用しない。

APPENDIX-2(サーバー作成)に続く

## APPENDIX-2

### サーバー作成

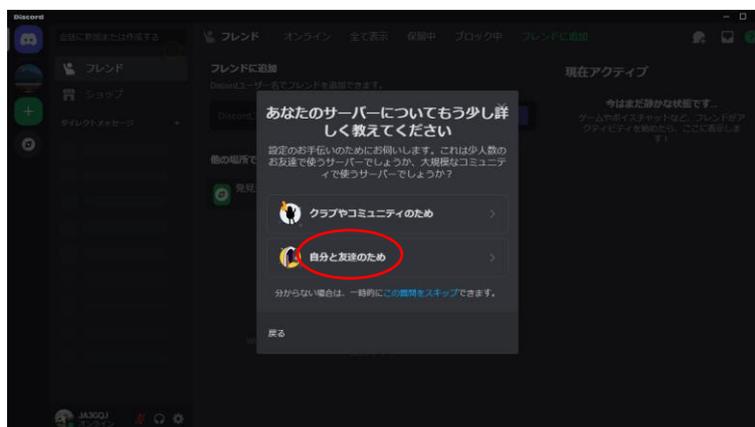
現用サーバー「IMG\_EXCHANGEのサーバー」の作成手順を踏襲して新規に「testのサーバー」を作成して記録を残す。アカウントの画面の左にある「+」にカーソルを合わせ「サーバー追加」をクリック →



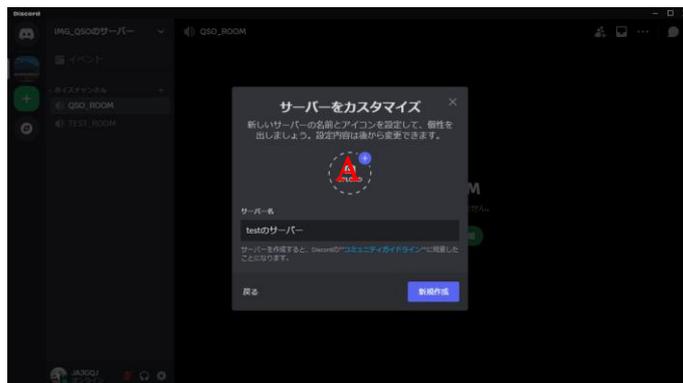
→ 「サーバーの作成」画面が開く → 「友達」を選択



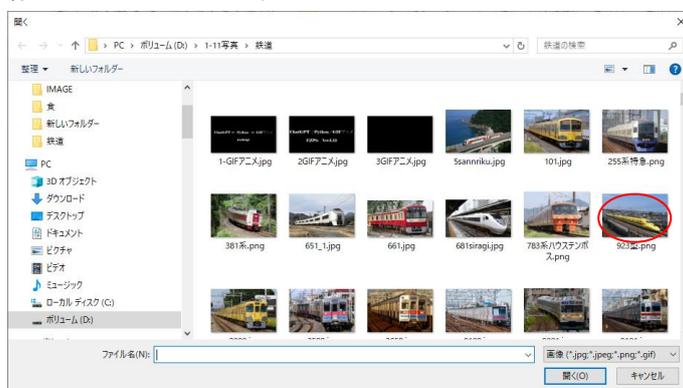
「あなたのサーバーについてもう少し詳しく教えてください」画面が開く → 「自分と友達のため」を選択



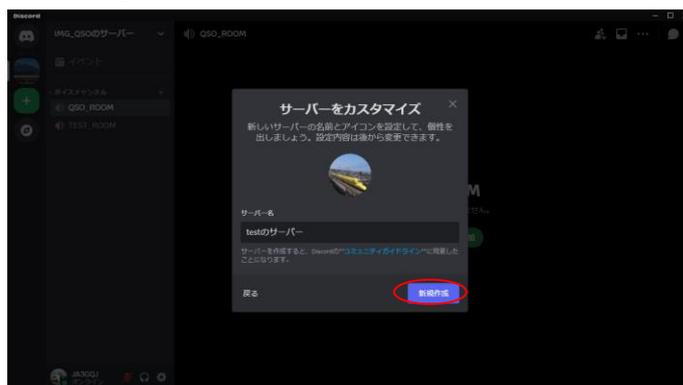
「サーバーのカスタマイズ」画面が開く → 「A」をクリック



画像ファイルを保存したフォルダーが開く



希望する画像ファイルをダブルクリック → 「A」に画像が張り付く → サーバー名を入力して → 「新規作成」ボタンをクリック →



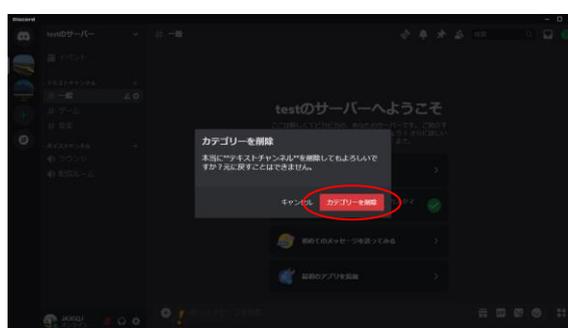
→ 入力した「test のサーバーへようこそ」という画面（次のページ）が開いてサーバーが作成された。

画像交換に不要と思われるカテゴリ（チャットチャンネル）とそこにあるチャンネルを次の手順ですべて削除してカテゴリ（ボイスチャンネル）だけを残す。

画面左の文字「テキストチャンネル」を右クリック →



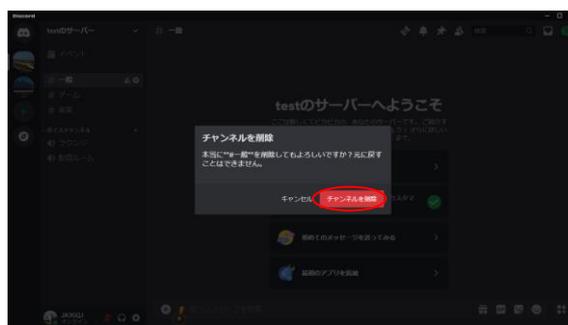
→ 「カテゴリを削除」画面が開く → 「カテゴリ削除」をクリック →



→ ボイスチャンネル」の文字が消えた → 文字「一般」を右クリック →  
開いた小さな画面で「チャンネルを削除」をクリック →



→ 「チャンネルを削除」の画面になる → 「チャンネルを削除」をクリック →  
「一般」の文字が消えた



以下同じ手順で「ゲームチャンネル」と「音楽チャンネル」を削除 → カテゴリー（ボイスチャンネル）だけが残る。

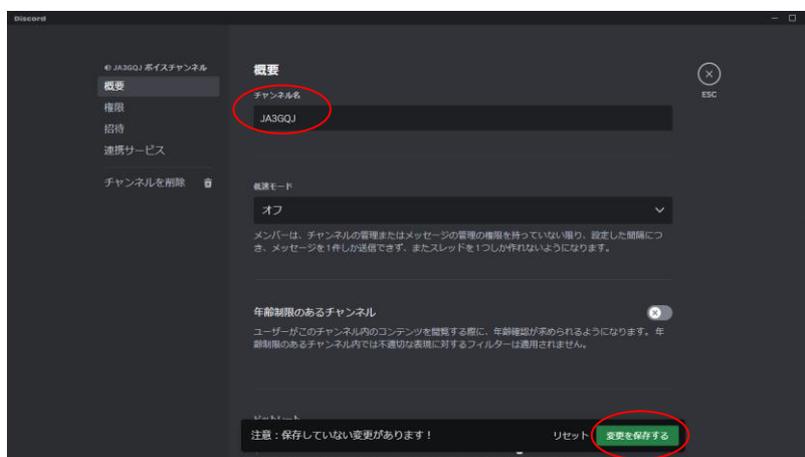


カテゴリー（ボイスチャンネル）のチャンネル「ラウンジ」にカーソルを当てて右の歯車アイコンをクリック →

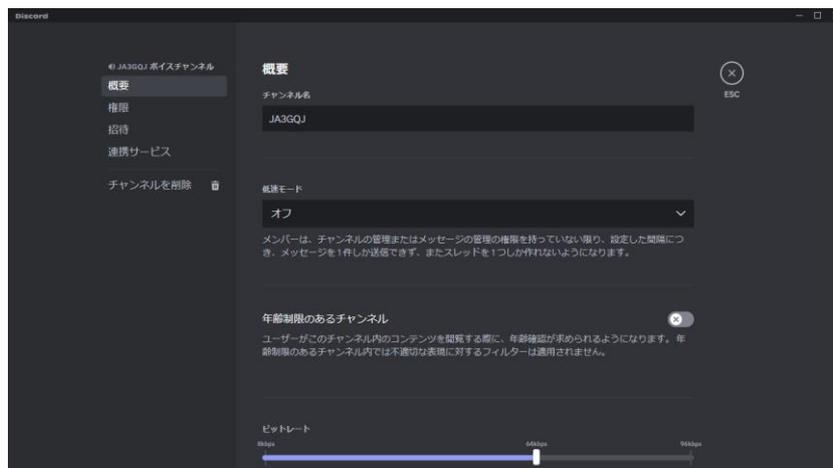


→ 「概要」の画面が開く →

→ チャンネル名を自分が希望する名前に変更する。（他はノータッチ）



前頁画面の右下の「変更を保存する」をクリック → 画面が次のように変わる →



→ 右上の✕ESC をクリックして閉じる → ボイスチャンネルのチャンネル名が変わる。



同じ要領でチャンネル名「配信ルーム」を「test room」に変更する



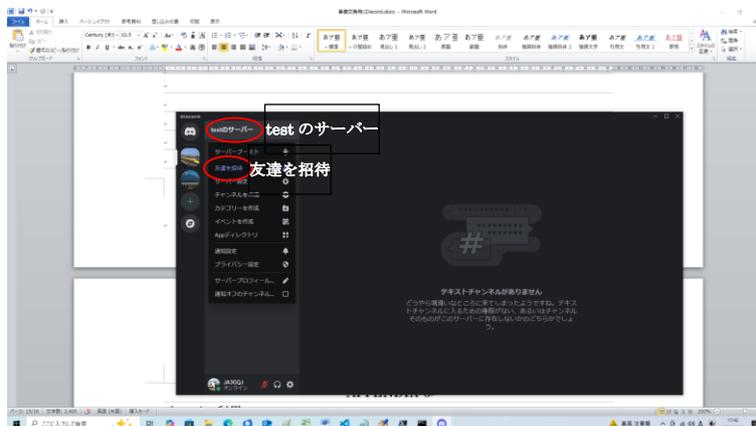
カテゴリ（ボイスチャンネル）内のチャンネル増減は自由にできる。画像交換のためのチャンネルは一つでも十分であるが予備として test room チャンネルを用意した。

**APPENDIX-3(サーバー利用)に続く**

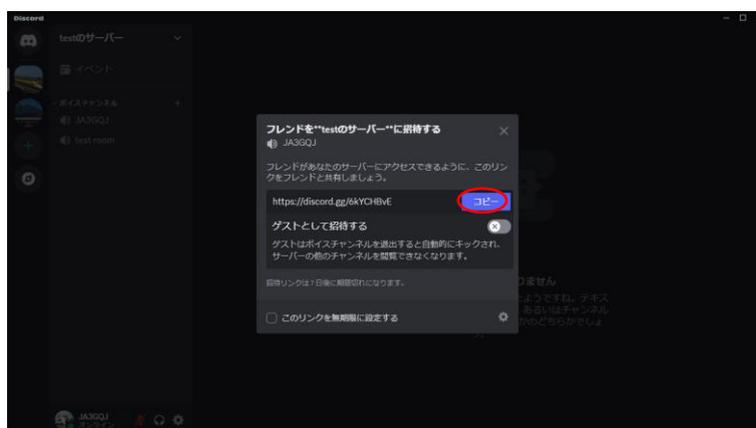
## APPENDIX-3

### サーバー利用

作成したサーバーの文字「test のサーバー」をクリック → 開いたリストの「友達を招待」を選択 →



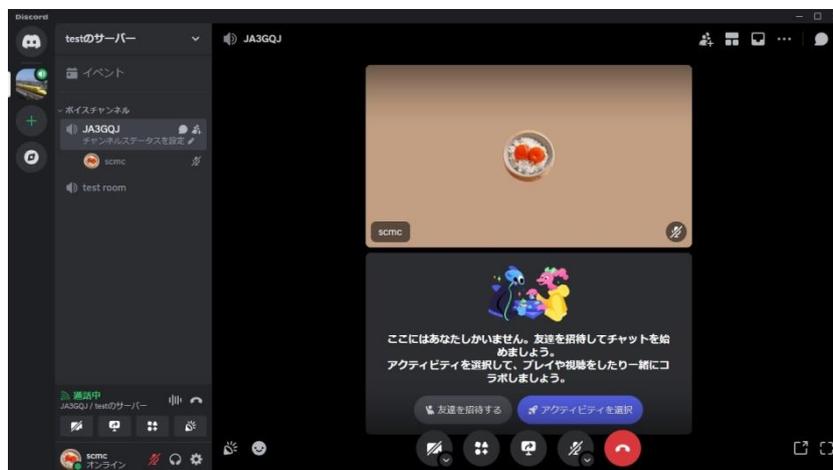
→ 「フレンドを\*\*test のサーバー\*\*に招待する」画面が開く → 画面の「コピー」をクリック → その左の URL ([https://discord.gg/\\*\\*\\*\\*](https://discord.gg/****)) がコピーされる。



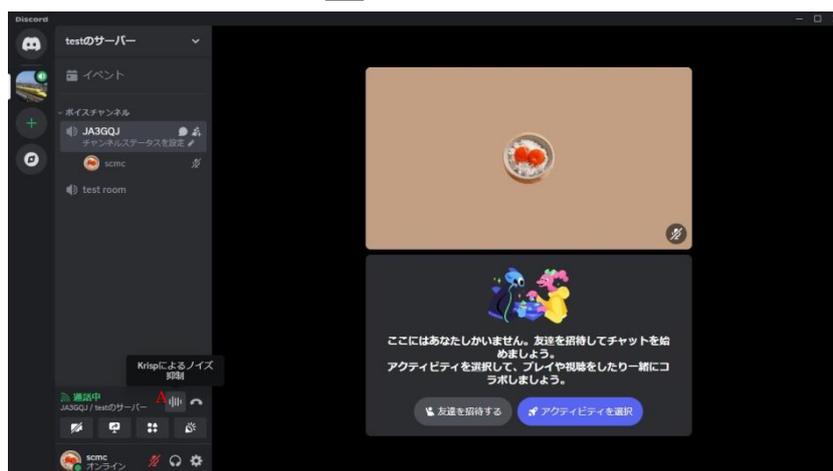
コピーした URL をメールなどで友達に連絡する → 受け取った友達が URL にアクセスする → 友達の web に次の様な画面が表示される。 →



→ 友達は「\*\*test のサーバー\*\*」をクリック → 次の画面になって友達はサーバーに参加できた。



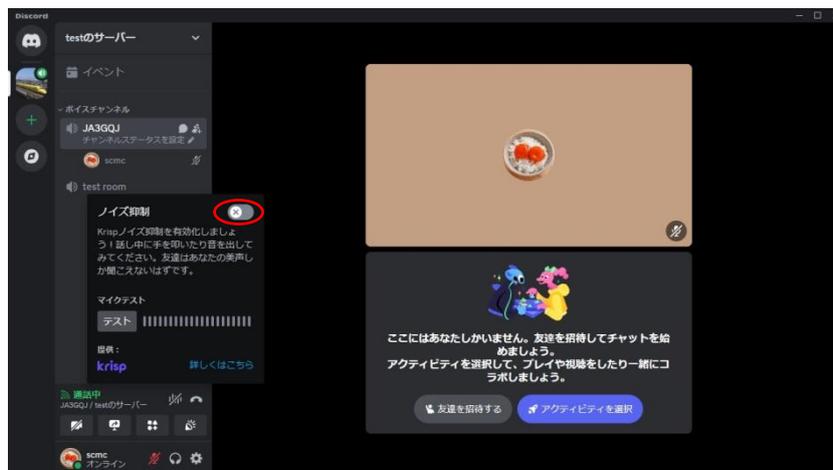
画像信号を扱うために友達は「A」  をクリックする →



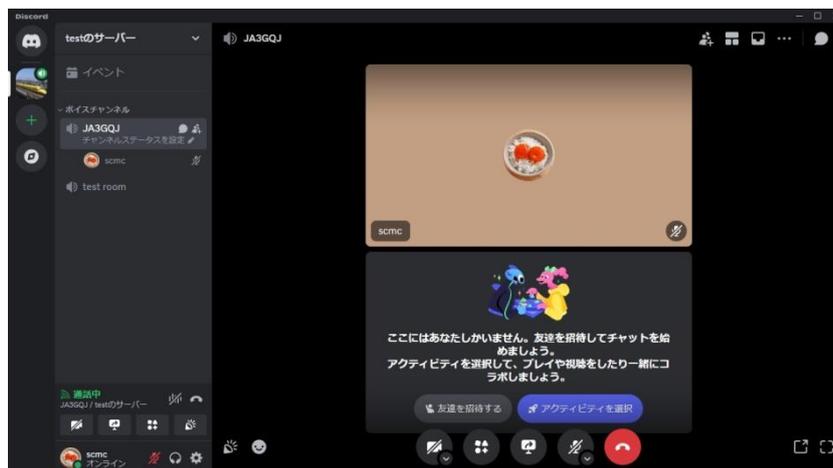
→ 次の画面に変わる → ノイズ抑制ボタンがON(緑色)になっている →



→ ノイズ抑制ボタンを次の画面のように OFF（グレー）にする



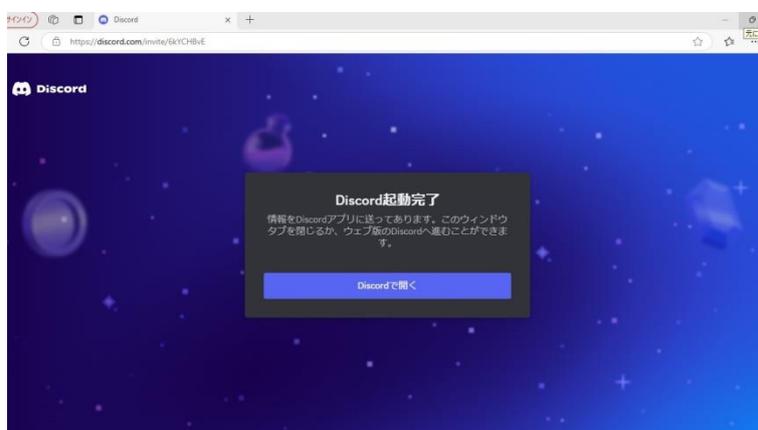
「A」に斜線  が入ったことを確認する



次の画面は別の新しい友達がサーバーに参加した様子。



以上の手順を実行する中で次の画面が表示されたら画面右上の「×」をクリックして画面を閉じる。



**FT8 モードや GMSK モードの信号を扱うために重要なことは Discord の「ノイズ抑制」ボタンを OFF にすることであった。**

このボタンを OFF にしないと音声信号は通るが FT8 や GMSK の信号が通らないので画像交換ができない。

以上